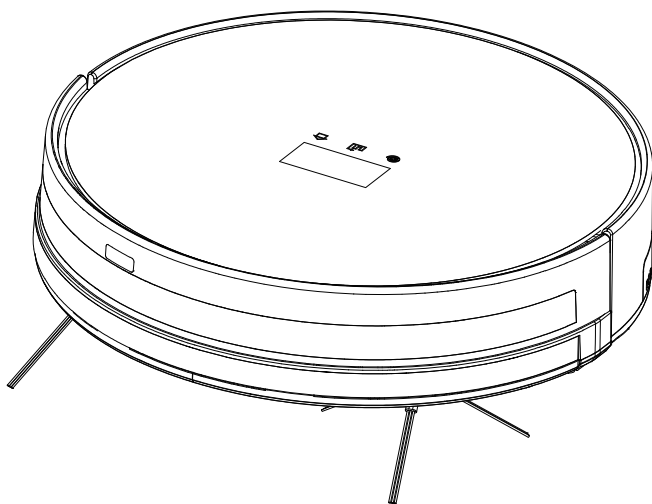




スマートロボット掃除機

X5

取扱説明書



当社のロボット掃除機をお買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書は目に届く位置に保管し、製品をお使いになる前にしっかり
お読みください。
安全にお使いいただくため、ご使用中は本説明書の指示に従ってください。

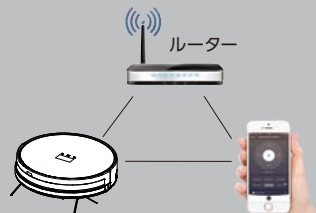
アプリご使用時のクイックガイド

+Styleアプリを初めて使用する場合の手順を説明しています。

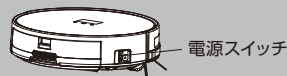
1. 準備

①ロボット掃除機、お使いのWi-Fiルーター、スマートフォンの間の各距離を4メートル以下にして配置します。

②Wi-Fiルーター(2.4GHzのみ対応)に設定されているパスワードを確認します。アプリ設定時に必要な情報です。



③ロボット掃除機の電源スイッチをオンにします。



④ピープ音が鳴り、表示パネルに右図のように表示されるまで、ロボット掃除機の **前** 自動(ジグザグ) ボタンを数秒間押します。ロボット掃除機が初期化されます。



2. アプリのダウンロードと設定

1 お使いのスマートフォンで右のQRコードを読み取るか、App StoreまたはGoogle Playで「+Style」を検索して、アプリをダウンロードします。



2 スマートフォンのホーム画面で  をタップしてアプリを開きます。

3 [新しいアカウントを作成]をタップし、スマートフォンの電話番号かメールアドレスを入力し、[認証番号を取得]をタップします。

※電話番号の場合、国番号が「Japan +81」になっていることを確認してください。



- 4** 登録した電話番号またはメールアドレス宛に、認証番号が通知されます。通知された認証番号を入力し、新規パスワードを入力したら[完了]をタップします。





- 5** [グループを作成]をタップしたあと、[グループ名]をタップし、任意のグループ名を入力したら[完了]をタップします。



- 6** [マイホーム]画面右上端の[+]、または画面中央の[デバイスを追加]をタップしたあと、[掃除ロボット]をタップします。

※デバイス名はあとで変更できます。



- 7 ロボット掃除機の  自動(ジグザグ) ボタンを3秒間押し、表示パネルの  Wi-Fiマークが速い点滅をしているのを確認してから、[点滅を確認出来たら、次へ]をタップして、Wi-Fiルーターのパスワードを入力し、[確認]をタップします。接続が完了するまでお待ちください。



※+Styleアプリのパスワードではなく、Wi-Fiルーターのパスワードです。

3. アプリの基本操作

以下のモードを選択できます。

- オート : 自動クリーニングモード/
ジグザグクリーニング
- スポット : スポット(局所)クリーニングモード
- 30分 : 30分間のクリーニング
- エッジ : 壁際クリーニングモード
- ドック : 自動充電




4. タイマー設定

アプリの[タイマー]をタップし、タイマー画面を表示します。[タイマーを追加]をタップし、作動時間、モード、曜日(複数曜日選択可能)を設定して保存します。



5. ウェイクアップ/スタンバイ


アプリの  をタップし、ロボット掃除機をウェイクアップ/スタンバイモードにします。

※スタンバイモード中は、アプリの画面が暗くなります。 をタップすると、3秒でロボット掃除機が起動(ウェイクアップ)して掃除する準備が整います。



6. 共有を追加

1台のロボット掃除機につきメインIDは1つですが、他の登録済みユーザーに共有することもできます。共有したいユーザーが未登録の場合、登録してから以下の手順で共有してください。

画面右上端の  をタップし、[デバイスを共有する]、[共有ユーザーの追加]をタップしたあと、登録済みの電話番号またはメールアドレスを入力し[完了]をタップします。



Wi-Fiルーターを変更する

お使いのWi-Fiルーターを変更した場合、ロボット掃除機のWi-Fi設定を設定しなおす必要があります。前述の「1. 準備」からやり直してください。

目次

1. 安全上の注意	1
2. ロボット掃除機について	4
2.1 本体	4
2.2 付属品	4
2.3 各部の名称	5
2.4 充電ステーション	6
2.5 バーチャルウォール(磁気ストリップ)	6
2.6 リモート・コントローラ	7
3. 製品の操作	8
3.1 バッテリーの充電	8
3.2 製品の各状態とパネル表示の対応	9
3.3 タイマー設定	9
3.4 クリーニングモード	10
3.5 ダストボックスと水タンクの交換	11
3.6 リモート・コントローラの使用方法	11
4. 製品のお手入れ	13
4.1 サイドブラシ、メインブラシ、モップ用の布の清掃	13
4.2 ダストボックスとフィルタリング用の布の清掃	13
4.3 落下防止センサーと充電用ポールの清掃	14
5. エラーコードと解決策	15
6. 仕様	16

1. ⚠️ 安全上の注意

- ご使用前に、床に置いてある物を片付けてください(壊れやすい物やコード、衣服、紙、緩んだケーブルをすべて片付け、カーテンやドレープは床に接触しないように持ち上げて事故が起きないようにしてください)。カーペットの角はめくり上がっておらず、垂れ下がった状態のテーブルクロスやカーテンは床に接触しないようにしてください。
- お子さまがロボット掃除機をお使いになる場合、8歳以上のお子さまに限定してご使用ください。お子さまが本電化製品で遊ばないようにしてください。掃除やユーザーによる保守作業は、監視がない状態でお子さまにさせないようにしてください。
- ロボット掃除機が作動する領域に階段がある場合は、階段の一番上に付属のバーチャルウォール(磁気ストリップ)をお使いください。階段の端までの距離は、約15cm以上離してください。これはロボット掃除機が階段から落下しないようにするための大切な安全措置です。
- 推奨されるオリジナルの予備部品のみをご使用ください。
- 本電化製品に同梱されているオリジナルの充電ステーションのみをご使用ください。供給電圧が充電ステーションに記載されている電圧と同じであることを確認し、40℃超または0℃未満の環境下では絶対にバッテリーを充電しないでください。本電化製品に付属の充電ステーションは適合するコンセントに差し込んでください。
- ご使用前に、ダストボックスとフィルタリング用の布が正しく取り付けられていることを確認してください。
- 可燃性の液体や洗浄液、エアゾルやそれらの蒸気を吹きかけたり、吸い取ったりしないようにしてください。
- 本製品は0℃～40℃の環境下でお使いください。
- 髪の毛や衣服、指、その他のお身体の部位をメインブラシやサイドブラシに触れないようにしてください。
- 乳幼児やペットがいる部屋では本装置は使用しないでください。
- 濡れた地面や水が溜まっているような場所では本製品は使用しないでください。
- たばこの吸い殻やライター、マッチなど、火事の原因となりうる可燃性の物質を吸い込むために本製品を使用しないでください。
- ご使用前に、ダストボックスと空気吸引口を清掃し、吸込み口にあるゴミや髪の毛、綿ほこりなどを頻繁に除去してください。ダストボックスの入り口が詰まらないようにしてください。
- 重い物や鋭利な物で電源コードなどのコード類を過度に曲げたり、コードに力をかけたりしないでください。掃除中に、ロボット掃除機にコードの上を通過させたり、コードをもつれさせたりしないでください。コードは熱源に近づけないでください。
- 本製品は、認可を受けた技術者しか分解できません。ユーザーによる製品の分解や修理は認められていません。
- 充電ステーションが損傷している場合は使用しないでください。
- コードやACアダプターが損傷している場合は使用しないでください。ロボット掃除機が破損している場合は使用しないでください。ケガをする恐れがありますので、アフターサービスや修理を依頼してください。
- 落下しやすい場所には本製品を置かないでください(テーブルや椅子など)。
- 充電前に、ACアダプターや差し込み口が正しく接続されているか確認してください。
- 極端な使用条件や極端な温度条件の下ではバッテリーから液体が漏れる可能性があります。
- 洗浄液などが皮膚に接触した場合は直ちに水で洗い流してください。これらの液体が目や口に入った場合は、直ちにきれいな水で10分以上洗って、医師による診察を受けてください。

1. 安全上の注意

- 鋭利な物(釘など)を刺したり、硬い物(ハンマーなど)で叩いたり、踏みつけたりするなど、過度な力を加えないでください。
- 使用中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変形、破損、芯線露出、断線などの異常がみられた場合は、すぐに使用を中止してください。
- バッテリーが漏液したり、異臭がしたりするときは、すぐに使用をやめて火気から遠ざけてください。
- 充電時間を大きく超えるなど、長時間充電が完了しない場合、充電を中止してください。
- 付属品は、本製品以外で使用しないでください。
- 電子レンジやIH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器の近くに置かないでください。
- 次の場所で保管しないでください。
 - ・火気や暖房器具の周辺、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など、高温になる場所や熱のこもりやすい場所
 - ・風呂場やキッチン、加湿器のそばなど、水分や湿気が多い場所、結露が起きる場所
 - ・ほこりの多い場所
 - ・ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所
 - ・布や毛布などをかぶせた状態
 - ・引火性ガスが発生する可能性のある場所
- 指定以外の方法で充電しないでください。
- コネクタやポートに、導電性異物(ネックレスやヘアピン、鉛筆の芯、金属製ストラップなど)を接触させたり、これらと一緒に持ち運んだり保管したりせず、ほこりが内部に入らないようにしてください。
- 火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
- 充電中は、充電ステーションに触れると熱くなっています。動作上問題はありませんが、低温やけどの恐れがありますので長時間触れないでください。
- 次の場所で使用したり保管したりしないでください。
 - ・電子レンジやIHコンロの近くなど、強い磁気や電氣的ノイズ(静電気など)が発生する場所
 - ・キャッシュカードやクレジットカードなど、磁気データの近く
- 使用前に、本製品のコネクタやポート内部に異物がないことを確認し、異物がある場合、取り除いてください。
- 本製品は、家庭や一般的な事業所での用途でのみご使用ください。本製品の故障や誤動作により、人身事故や火災、その他の損害が生じる恐れがある場合、使用しないでください。
- ACアダプターを抜き差しする場合、ケーブルを引っ張るなど無理な力を加えず、接続するポートに対してまっすぐ確実に抜き差ししてください。
- 本製品内部やコネクタに異物などが付いた場合、電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、すぐに使用を中止してください。
- お手入れの際は、電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本製品に海外旅行用の変圧器(トラベルコンバーター)を使用しないでください。
- タコ足配線はしないでください。
- 雷が鳴り出したら、本製品に触れないでください。
- ACアダプターをコンセントにつないだ状態で、コネクタやポート、充電用ポールをショートさせたり、手や指など身体の一部で触れたりしないでください。
- 製品の持ち運び時や、お手入れ時、長期間製品を使用しない場合は、電源スイッチを切ってACアダプターを取り外してください。

●電波についてのご注意

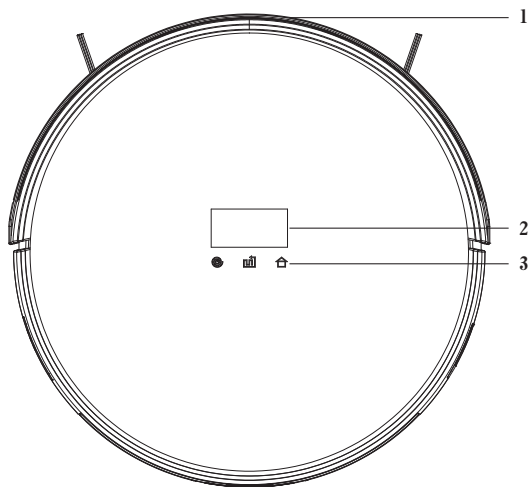
- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でだけ使用できます。
 - 本製品は、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
 - ・産業・科学・医療用機器
 - ・工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の無線局
 - 構内無線局 (免許が必要な無線局)
 - 特定小電力無線局 (免許が必要でない無線局)
 - ・アマチュア無線局 (免許が必要な無線局)
 - 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、およびアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変更するか、使用を中止してください。
 - その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社までお問い合わせください。
 - 本製品の誤動作により重大な影響を及ぼす恐れのある機器の近くでは使用しないでください。漏液した液体に引火し、発火、破裂などの恐れがあります。また、病院や航空機内など、電波使用を禁止されている場所では本製品を使用しないでください。本製品の電波で医療機器(ペースメーカーなど)や電子機器に影響を及ぼす恐れがあります。
- 本製品をお使いになる際は本取扱説明書の指示を厳守してください。不適切な使用によるいかなる損失や損害についても当社は責任を負いません。

推奨事項	禁止事項
<p>充電</p> <p>使用していないときは充電を行い、必要なときにいつでも本製品をお使いいただける状態にしてください。</p>	<p>水、薬品やその他の液体など</p> <p>ロボット掃除機で濡れた場所の掃除はしないでください。ロボット掃除機に水をかけたり、水中に入れたりしないでください。また刺激の強い薬品や、永久に汚れが残るような物質は避けてください。お手入れの際は、乾いた布を使用するようにしてください。</p>
<p>バーチャルウォール(磁気ストリップ)</p> <p>ロボット掃除機は接触できる場所すべてを掃除します。特定の領域にロボット掃除機が立ち入るのを避けたい場合は、境界が分かるようにバーチャルウォールを置いてください。バーチャルウォールまでは掃除しますが、それを越えることはありません。</p>	<p>床面へのケーブルの吊り下がりがりやテーブルクロスの垂れ下がり</p> <p>ロボット掃除機とお部屋の安全性を確保するため、掃除機に垂れ下がっている電気コードやテーブルクロス、その他コード状の物が絡まないようにしてください。</p>
<p>お手入れ</p> <p>ロボット掃除機は一日中ゴミを吸い込んでいるため、多少汚くなります。定期的にホイールやブラシに髪の毛や破片が付いていないか確認して、スムーズに作動できるようにしてください。</p>	<p>低温・屋外</p> <p>ロボット掃除機を氷点下の温度にさらすと、永久的な損傷の原因となったり、品質を損ねたりする可能性があります。また、ロボット掃除機は屋外使用を想定した製品になっておりません。ご家庭の屋内でのみ使用してください。</p>

2. ロボット掃除機について

2.1 本体

No.	項目
1	バンパー
2	表示パネル
3	タッチボタン



タッチボタン



スポット
(局所)

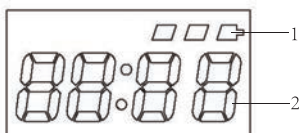


自動
(ジグザグ)



自動充電

表示パネル



No.	機能
1	バッテリーの状態/充電状態
2	スケジュール設定、タイミング、エラーコード、クリーニングモード等の表示

2.2 付属品



充電ステーション



ACアダプター



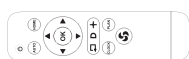
モップ用の布



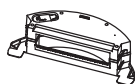
サイドブラシ



フィルタリング用の布



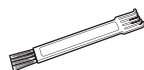
リモート・コントローラ
※電池2個同梱。



水タンク



バーチャルウォール
(磁気ストリップ)

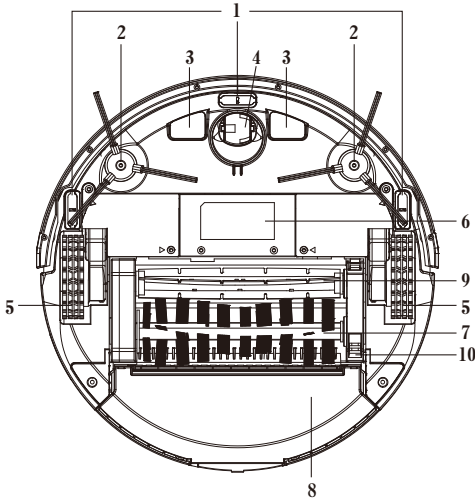


お手入れ用ブラシ



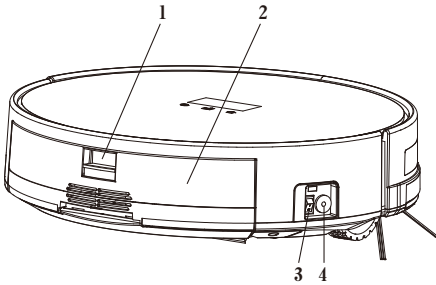
説明書

2.3 各部の名称



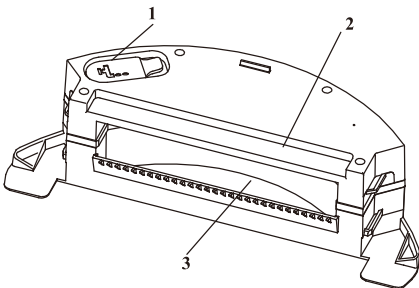
底面図

No.	名称
1	落下防止センサー
2	サイドブラシ
3	充電用ポール
4	ユニバーサルホイール
5	サイドホイール
6	バッテリーボックスカバー
7	ファアブラシ
8	ダストボックス/水タンク、 フィルタリング用の布
9	ローラーブラシ
10	ブラシ保護リリース



背面図

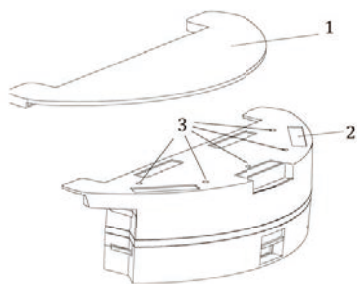
No.	名称
1	ダストボックス/ 水タンク解除ボタン
2	ダストボックス/水タンク
3	電源スイッチ※出荷時、オフになっています。
4	充電プラグ



水タンク

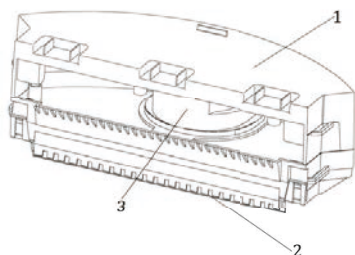
No.	名称
1	注水口
2	水タンク
3	ダストボックス差し込み口

2. ロボット掃除機について



水タンク底面

No.	名称
1	モップ用の布
2	マジックテープ
3	導水口

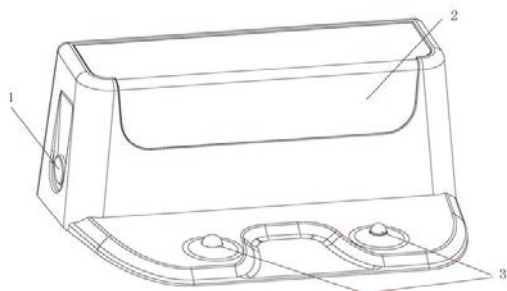


ダストボックス (水タンクなし)

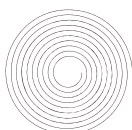
No.	名称
1	ダストボックス
2	空気吸引口
3	吸引モーター

2.4 充電ステーション

No.	名称
1	DC充電ソケット
2	信号受信窓
3	充電用ポール



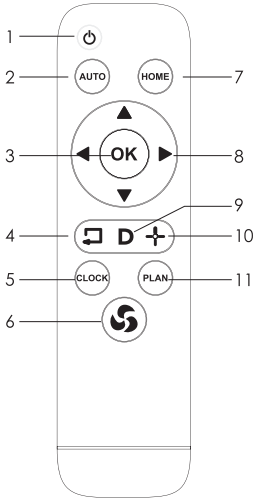
2.5 バーチャルウォール(磁気ストリップ)



一方の壁からもう一方の壁まで床面上に磁気ストリップを床面に置いて仮想的な壁を作ります。掃除機は磁気ストリップを認識し、それを越えて移動しません。



2.6 リモート・コントローラ



1	スタンバイ/ウェイクアップボタン
2	自動クリーニングボタン
3	OKボタン
4	壁際クリーニングボタン
5	時間設定ボタン
6	MAXボタン
7	フル充電後起動ボタン
8	矢印選択ボタン
9	フル充電ボタン
10	スポット(局所)クリーニングボタン
11	スケジュール設定ボタン

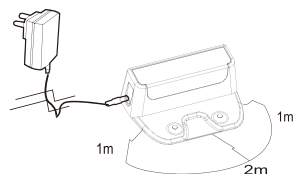
3. 製品の操作

3.1 バッテリーの充電

自動充電

壁を背にして充電ステーションを置き、ステーションの両側1メートル、前側約2メートルの範囲に障害物がない状態にします(図参照)。

また、ロボット掃除機がACアダプターのコードを巻き込まないようにします。



注:電源に接続されると、充電ステーションの表示灯が点灯します。障害物があると自動充電ができませんので、必ず充電ステーションの上記範囲内に障害物がないことを確認してください。

- ロボット掃除機が自動クリーニングモードになっている状態でバッテリーが低下すると、充電ステーションを探し始めます。
- ロボット掃除機の電源が入っている状態で、ロボット掃除機カリモート・コントローラの自動充電ボタンを押すと、ロボット掃除機が充電ステーションを探し始めます。

手動充電

電源プラグをDC充電ソケットに直接接続してください(図1参照)。

注:初回充電時には、バッテリーが6時間以上充電されたことを確認してください。充電中は、表示パネルで充電状態が点滅して表示されます。充電が終了すると、表示パネルの充電状態の点滅が停止します(図2参照)。ロボット掃除機を頻繁に使用する場合は、最適な状態でご使用いただくため、必ず電源スイッチを常時オンにして、ロボット掃除機を充電ステーションに常に設置してください。長期間ロボット掃除機を使用しない場合は、フル充電をして、乾燥した安全な場所に保管してください。

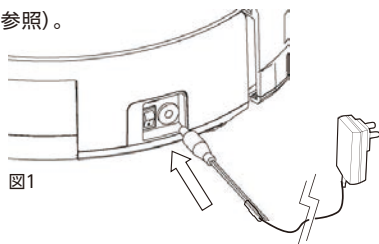


図1



図2

低バッテリー

充電中

充電完了

バッテリーの寿命を長くするには

- 初めてお使いになる前に、ロボット掃除機を6時間以上充電してください。
- バッテリーが低下したらすぐにロボット掃除機を充電してください。
- ロボット掃除機は、掃除が完了するか、バッテリーが低下すると、自動的に充電ステーションに戻ります。
- 長期間ロボット掃除機を使用しない場合は、ご使用前にバッテリーをフル充電して電源を切り、乾燥した冷暗な場所に保管してください。
- 3ヶ月を超える期間ロボット掃除機を使用しない場合は、ロボット掃除機を12時間充電して電源を切り、乾燥した冷暗な場所に保管してください。

3.2 製品の各状態とパネル表示の対応

クリーニングモード(掃除中)	: 表示パネルON
スタンバイモード	: 電源スイッチON、表示パネルON
スリープモード	: 電源スイッチON、表示パネルOFF

1) クリーニングモード

電源スイッチが入っていることを確認します。ロボット掃除機またはリモート・コントローラのいずれかのクリーニングボタンを押して掃除を始めます。

注: ロボット掃除機がスリープモードの場合は、ロボット掃除機のいずれかのクリーニングボタンか、リモート・コントローラのスタンバイボタンを押してまずスタンバイモードにしてください。

2) スタンバイモード

スタンバイとは、電源スイッチはオンで、前回のクリーニングモードが停止している状態です。ロボット掃除機が掃除中に、ロボット掃除機かリモート・コントローラのいずれかのクリーニングボタンを押すと、掃除を停止してスタンバイモードに移行します。

注: スタンバイモードの場合はロボット掃除機を起動させることができます。

3) スリープモード

ロボット掃除機の電源が入っていて待機状態となると、45秒以内に自動的にスリープモードに入ります。スタンバイ/ウェイクアップボタンを押すと、スリープモードから起動します。

3.3 タイマー設定

リモート・コントローラでロボット掃除機のクリーニングスケジュールを設定できます。

現在時刻設定

ロボット掃除機の電源が入っていてスタンバイモードになっていることを確認してください。リモート・コントローラをロボット掃除機の表示パネルに向けてCLOCK(時間)設定ボタンを押すと、左側の二つの数字が点滅します。この状態で「 \wedge 」上矢印/「 \vee 」下矢印を押して現在時刻の「時」を設定し、OKで確定します。次に右側二つの数字が点滅するので、同様に現在時刻の「分」を設定し、OKで確定します。これで現在の時刻の設定は完了です。

スケジュール設定

スケジュール設定モードを設定すると、ロボット掃除機は毎日設定された時刻に掃除を開始します。

- 1) ロボット掃除機の電源が入っていてスタンバイモードになっていることを確認してください。
- 2) リモート・コントローラをロボット掃除機の表示パネルに向けてPLAN(スケジュール)設定ボタンを押すと、左側の二つの数字が点滅します。この状態で「 \wedge 」上矢印/「 \vee 」下矢印を押して掃除を開始したい時刻の「時」を設定し、OKで確定します。次に右側二つの数字が点滅するので、同様に「分」を設定し、OKで確定します。これでスケジュールの設定は完了です。
- 3) スケジュールリングをキャンセルするには、時刻を[00:00]にスケジュール設定してスケジュールリングをキャンセルします。

注: バッテリーを交換したり、ロボット掃除機からバッテリーを取り出したりすると、スケジュール設定は自動的に無効となります。状況に応じて、再設定する必要があります。

3.4 クリーニングモード

自動クリーニングモード／ジグザグクリーニング /

本ロボット掃除機は、アルゴリズムの計算に基づく高度な経路誘導システム「慣性航法」を利用して、お部屋の掃除を効率的に行うための最適な経路を決定しています。自動クリーニングモードでは、自動的にお部屋を掃除し、環境に応じてクリーニングモードを調整します(ロボット掃除機本体のジグザグクリーニングボタンから開始すると最も効率的に掃除できます)。

注:ロボット掃除機からリモート・コントローラの自動クリーニングボタンを押すと、自動クリーニングモードが起動します。

スポット(局所)クリーニングモード /

スポットクリーニングをしたい領域にロボット掃除機を置きます。ロボット掃除機からリモート・コントローラのスポット(局所)ボタンを押すと、このモードが起動します。

注:スポットクリーニングモードを終えたい場合は、リモート・コントローラかロボット掃除機のいずれかのクリーニングボタンを押すと、このモードが停止します。またロボット掃除機は、スポットクリーニングが終了すると自動的に掃除を終了します。

壁際クリーニングモード

ロボット掃除機を壁際近くに置きます。リモート・コントローラの壁際クリーニングボタンを押すと、このモードが起動します。

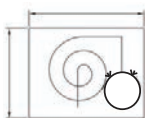
注:壁際クリーニングモードを終えたい場合は、リモート・コントローラかロボット掃除機のいずれかのクリーニングボタンを押すと、このモードが停止します。

スケジュールリングクリーニングモード

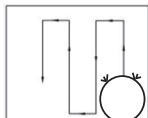
必要に応じて、スケジュールリングクリーニングを設定してください。スケジュールが設定されると、ロボット掃除機はスケジュールに従って指定された時間に掃除を始め、掃除が終わると自動的に充電ステーションに戻ります。

フル充電クリーニングモード **D**

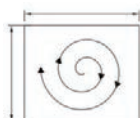
ロボット掃除機の電源が入っている状態または掃除中あるいは充電中の状態(充電ステーションに接続されている状態)で、リモート・コントローラのフル充電ボタンを押すと、フル充電クリーニングモードになり、表示パネルに「FULL GO」と表示されます。まず最初にフル充電が行われ、完了したら自動的に掃除を始めます。



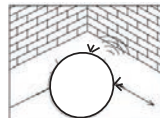
自動クリーニング



ジグザグクリーニング

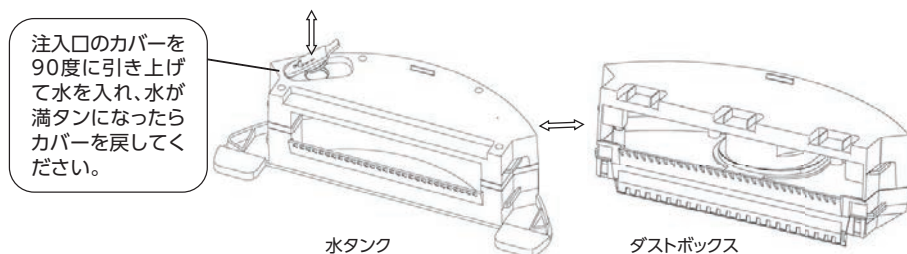


スポット(局所)クリーニング



壁際クリーニング

3.5 ダストボックスと水タンクの交換



床の特定の箇所を拭き取るには、水タンクを設置してモップ用の布を取り付けると非常にお手軽で便利です。ダストボックスを取り外して、水を満タンに入れた水タンクをロボット掃除機に取りつけて掃除を始めます。

注: 水タンクが設置されると、ロボット掃除機は自動的にモップ用のモードになります。水タンク本体は丸ごと洗うことができます(注意: 通常ダストボックスは吸引モーターを内蔵しているため洗わないでください)。水タンクをお使いでないときは水を出しておいてください。

3.6 リモート・コントローラの使用法

クリーニングボタン

(AUTO) を押すと自動クリーニングが始まり、**(HOME)** を押すと自動充電が始まります。**(◀)** を押すと壁際クリーニングが始まり、**(▶)** を押すとスポット(局所)クリーニングが始まります。**(⏻)** を押すとロボット掃除機が起動します。

矢印選択ボタン

“^”前進

時間設定やスケジュール設定で数字を増やします。

スタンバイモードやその他のクリーニングモードでロボット掃除機を前進させます。

“v”後退

時間設定やスケジュール設定で数字を減らします。

スタンバイモードやその他のクリーニングモードでロボット掃除機を後退させます。

“<”左矢印

時間設定やスケジュール設定でこのボタンを押すと、右側の二桁から左側の二桁に数字の設定をスキップします。スタンバイモードやその他のクリーニングモードでロボット掃除機を左折させます。

“>”右矢印

時間設定やスケジュール設定でこのボタンを押すと、左側の二桁から右側の二桁に数字の設定をスキップします。スタンバイモードやその他のクリーニングモードでロボット掃除機を右折させます。

3. 製品の操作

スケジュール設定ボタン

ロボット掃除機がスタンバイモード中に、このボタンを押して、スケジュール設定モードに入ります。スケジュール設定モードでこのボタンを押して、スケジュール設定がキャンセルされ、スケジュール時間が[00:00]になります。

時間設定ボタン

ロボット掃除機がスタンバイモード中に、このボタンを押して、現在時刻設定モードに入ります。

フル充電後起動ボタン

ロボット掃除機がスタンバイモード中に、このボタンを押すと、充電ステーションを探し始めます。

壁際クリーニングボタン

ロボット掃除機がスタンバイモード中に、このボタンを押して、壁際クリーニングを開始します。

スポットクリーニングボタン

ロボット掃除機がスタンバイモード中に、このボタンを押して、スポット(局所)クリーニングを開始します。

注: ご使用前に、リモート・コントローラに単4電池を2個取り付けてください。長期間使用しない場合は、バッテリーを取り外してください。

MAXボタン

クリーニング中に、このボタンを押すと、掃除スピードが速くなります。

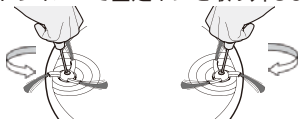
4. 製品のお手入れ

4.1 サイドブラシ、メインブラシ、モップ用の布の清掃

サイドブラシの清掃

サイドブラシは、多用により摩耗しやすいため、定期的に点検をして確認してください。

- ①ロボット掃除機をオフにして、上下をさかさまにします。
- ②ドライバーで固定ネジを取り外します。



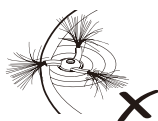
- ③ハサミを使って、引っかかった髪の毛や破片を除去します。

サイドブラシの変形の修正

サイドブラシは、持ち運び時や特定の状況下でのご使用時に変形する場合があります。そのような場合は、毛の部分温水に付けると元の形に戻すことができます。



良好



修復可能

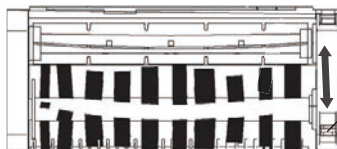
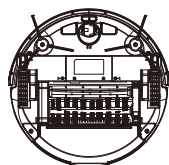


交換が必要

モップ用の布のお手入れ

マイクロファイバーのモップ用の布は洗って何度でもお使いいただけます。

- ①ロボット掃除機からメインブラシー式を取り外します。
- ②メインブラシにあるブラシ保護リリースを押して、ローラーブラシとファープラシを取り外して掃除してください。
- ③水タンクからモップ用の布を取り外します。モップ用の布は、水タンクを静止させた状態で保持して取り外してください。モップ用の布を戻す際には、両側が水タンクに正しく取り付けられ、水タンクの底部に水平に固定されていることを確認してください。



ここを押して、ローラーブラシとファープラシを取り外す

4.2 ダストボックスとフィルタリング用の布の清掃

ダストボックスとフィルタリング用の布は、ご使用のたびに清掃してください。

[図1]のように、フィルタリングボックスカバーのツメを押して、フィルタリングボックスと布を清掃してください。

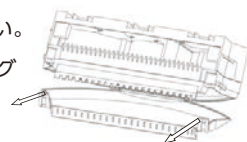


図1

4. 製品のお手入れ

[図2]のように、フィルタリング用の布を外して清掃してください。
(次のご使用までに洗って乾かしてください)

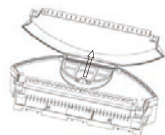
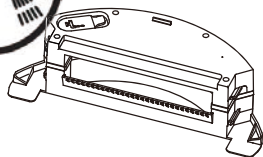


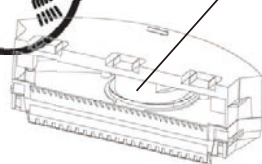
図2

ダストボックスを清掃して、ゴミを捨てて空にしてください。

警告:ダストボックスと水タンクを清掃するときは、吸引モーターを内蔵するダストボックスは洗えない点にご注意ください。水が入ると吸引モーターが損傷するおそれがあります。水タンクは洗浄可能です。



水タンクは洗浄可能

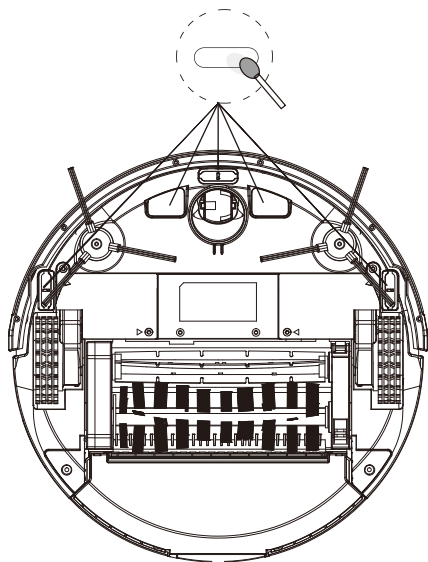


吸引モーターに水がかからないように

ダストボックスは洗浄不可

4.3 落下防止センサーと充電用ポールの清掃

週一回あるいは日々のご使用状況に応じて、落下防止センサーと充電用ポールを清掃し、ロボット掃除機を良好な状態に保ってください。



注:充電用ポールの清掃は、ロボット掃除機の充電を適切に行うために必要な作業です。

5. エラーコードと解決策

表示パネルに表示されるエラーコードと解決策

エラーコード	原因	解決策
Er 01	右サイドブラシの欠陥／詰まり	右サイドブラシを清掃する
Er 02	左サイドブラシの欠陥／詰まり	左サイドブラシを清掃する
Er 03	メインブラシの欠陥／詰まり	メインブラシを清掃する
Er 04	左サイドホイールの欠陥	左サイドホイールを清掃する
Er 05	右サイドホイールの欠陥	右サイドホイールを清掃する
Er 06	吸引モーターの欠陥	ダストボックスを空にして清掃する
Er 07	落下防止センサーの欠陥	落下防止センサーを清掃する
Er 08	サイドホイールの浮き	ロボット掃除機を固い地面に置く

注：上記の解決策で解決しない場合は、以下をお試しください。

本体電源をオフにしてロボット掃除機をリセットし、再度電源を入れて確認する。リセット後も解決しない場合は、問い合わせ窓口までお問い合わせください。

6. 仕様

型式番号

X5

リモート・コントローラ

入力電圧(V) 3

機械仕様

直径 320mm

高さ 88mm

重量 3.0kg

その他のパラメータ

ダストボックス 600 ml

水タンク (オプション) 300 ml (水)
+600 ml (ダストボックス)

クリーニングモード Auto (自動) (ジグザグ付き)、
Spot (局所)、Edge (壁際)、
Schedule (スケジュール)

充電時間 180~240分

掃除時間 120分以上 (モードなど、
ご使用環境により異なります)

電気仕様

定格電圧(V) 14.8

定格電力(W) 22

充電ステーション

定格出力電圧(V) 19

定格出力電流(A) 0.6

バッテリー 2600 mAh リチウム

品質

各工場は、生産管理について公認機関による外部の評価を受けています。

バッテリーの廃棄

本製品のバッテリーを廃棄する場合、お住いの自治体の廃棄方法に従って廃棄するか、当社お問い合わせ窓口までお問い合わせください。

 本電化製品は、欧州指令2014/30/EU、2014/35/EUおよび2014/53/EUに準拠しています。

保証

1) 保証対象について

対象となる事象により故障した場合、本体を修理または交換します。

- 商品開封直後正常に動作しない場合
- 取扱説明書に準じた通常の使用状況下で正常に動作しなくなった場合、無償で修理または交換

2) 保証期間について

保証期間は、ご購入日より1年間です。

3) 保証対象外について

- ・ユーザーの故意または過失により当該製品が毀損・破損された場合
- ・当該製品の消耗、変質、変色等による損耗(バッテリーのを含みます)
- ・当該製品の利用環境に伴う傷、汚れ、塗装の剥離等の外見上の劣化であり当該製品の機能自体に影響のない損耗
- ・水没又は水濡れが原因の場合
- ・当該製品を分解・改造された場合
- ・外的要因(極端な温度条件や環境条件、水濡れ、鋭利なものとの接触、デバイスへの供給電流の異常などを含むこれらに限定されない)に起因する損傷
- ・取扱説明書に反する使用方法をされた場合
- ・対象事象が当該製品に保存されていた履歴データ、その他一切の電子データの消去による損害である場合
- ・対象事象がコンピューターウイルスによる障害に起因するものである場合
- ・対象事象が地震、噴火、津波、河川の氾濫および流出による洪水など、天災により発生した場合
- ・対象事象が戦争、暴動またはテロにより発生したものである場合
- ・対象事象が差押え等の国または地方公共団体による公権力の行使により発生したものである場合
- ・対象事象が核燃料物質、放射能汚染により発生したものである場合

4) お問い合わせ窓口について

販売元/株式会社ホワイトストーン・ジャパン

総合お問合せ先/e-mail: support@whitestone-japan.com

